

店頭販売方法事例

玉ピン 陳列型

クリアケースに植物&ピンを入れず、店頭に陳列するスタイル
商品購入時にレジ等でクリアケースに入れる。



メリット：商品が手にとって見ることができる。

デメリット：レジでの作業が増える。(クリアケースに入れる作業が必要となる)

クリアケース 陳列型

クリアケースに植物&ピンを入れ、店頭に陳列するスタイル



メリット：顧客が持ち帰りのイメージをしやすい。(気分的に手にとりやすい)レジ作業が減る

デメリット：ケースに入らないサイズの植物があると、フタが閉まらず、見た目が悪い。

複合スタイル

ケースに植物&ピンを入れたものと、入れないものを混在させるタイプ



メリット：商品が手にとって見ることができる。顧客が持ち帰りのイメージをしやすい。
デメリット：どれが商品なのか混同する可能性。(傾向ではクリアケース入りを手にとる場合が多い)レジでの作業が増える。

散在スタイル

植物を様々な場所に散在させて販売するタイプ。(机や家具の上等に置く)
前記 ~ との組み合わせも可能



メリット：商品が手にとって見ることができる。顧客が飾る場所をイメージしやすい
~ との組み合わせによって効果が増す
デメリット：店内の飾りと間違えられる。(商品とは思っていない危険性)
管理手間がかかる。